

作成日 2001年 3月26日  
改訂日 2023年 4月 1日

## 安全データシート

### 1. 製品及び会社情報

製品名 Hamatite SC-SR2 専用カラーマスター (標準色)

会社名 シーカ・ジャパン株式会社

住 所 〒107-0051 東京都港区元赤坂 1-2-7 赤坂 K タワー7F

担当部門 オペレーションズ&サプライチェーン Q-EHS

電話番号 0463-31-2772

F A X 番号 0463-31-2769

整理番号 2167-R3

推奨用途 一般工業品 (業務用)

### 2. 危険有害性の要約

#### GHS分類:

健康に対する有害性	眼に対する重篤な損傷又は眼刺激性	区分2B
	発がん性	区分2
	特定標的臓器毒性(反復ばく露)	区分1

\*記載がない危険有害性は、「区分に該当しない」または「分類できない」である。

#### GHSラベル要素

##### 絵表示又はシンボル:



注意喚起語: 危険

危険有害性情報: 眼刺激

発がんのおそれの疑い

長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害

##### 注意書き:

#### 《安全対策》

使用前に取扱説明書を入手すること。

全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。

粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。

取扱い後は手をよく洗うこと。

この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。

保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。

#### 《応急措置》

眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

ばく露またはばく露の懸念がある場合: 医師の診断/手当を受けること。

気分が悪いときは、医師の診断／手当てを受けること。  
眼の刺激が続く場合：医師の診断／手当てを受けること。

《保管》

施錠して保管すること。

《廃棄》

内容物や容器を、国際／国／都道府県／市町村の規則に従って廃棄すること。

### 3. 組成、成分情報

単一製品・混合物の区別：混合物

成分名:ジメチルポリシロキサン

含有量(%):40 - 90

CAS No.:63148-62-9

成分名:二酸化チタン

含有量(%):0 - 60

化審法番号:1-558

CAS No.:13463-67-7

成分名:酸化第二鉄

含有量(%):0 - 40

化審法番号:1-357

CAS No.:1309-37-1

成分名:水酸化鉄(III)

含有量(%):0 - 30

CAS No.:20344-49-4

成分名:カーボンブラック

含有量(%):0 - 20

CAS No.:1333-86-4

成分名:群青

含有量(%):0 - 30

化審法番号:1-22

CAS No.:57455-37-5

成分名:チタン、アンチモン、ニッケルの複合酸化物系顔料

含有量(%):0 - 50

化審法番号:1-558, 1-543, 1-517

CAS No.:8007-18-9

成分名:キナクリドン系顔料

含有量(%):0 - 20

化審法番号:5-1168

CAS No.:980-26-7

成分名:ポリアゾ系顔料  
含有量(%):0 - 30  
化審法番号:4-1079; 5-3269  
CAS No.:3905-19-9

成分名:C.I. ピグメントイエロー 83  
含有量(%):0 - 30  
化審法番号:5-3169  
CAS No.:5567-15-7

成分名:銅フタロシアニングリーン  
含有量(%):0 - 30  
化審法番号:5-3315  
CAS No.:1328-53-6

成分名:銅フタロシアニンブルー  
含有量(%):0 - 30  
化審法番号:5-3299  
CAS No.:147-14-8

成分名:こはく酸  
含有量(%):0.5 - 2  
化審法番号:2-846  
CAS No.:110-15-6

注記：これらの値は、製品規格値ではありません。

#### 危険有害成分

安衛法「表示すべき有害物」該当成分（平成28年6月1日より）

ニ酸化チタン，酸化第二鉄，水酸化鉄(III)，カーボンブラック，チタン、アンチモン、ニッケルの複合酸化物系顔料，銅フタロシアニングリーン，銅フタロシアニンブルー

安衛法「通知すべき有害物」該当成分

ニ酸化チタン，酸化第二鉄，水酸化鉄(III)，カーボンブラック，チタン、アンチモン、ニッケルの複合酸化物系顔料，銅フタロシアニングリーン，銅フタロシアニンブルー

化管法「指定化学物質」該当成分

チタン、アンチモン、ニッケルの複合酸化物系顔料

## 4. 応急措置

### 一般的な措置

気分が悪いときは、医師の診断/手当てを受けること。

### 吸入した場合

空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

### 皮膚(又は髪)に付着した場合

水と石鹸で洗う。

### 眼に入った場合

水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

眼の刺激が続く場合：医師の診断/手当てを受けること。

#### 飲み込んだ場合

水で口の中をよく洗う。

### 5. 火災時の措置

#### 消火剤

##### 適切な消火剤

火災の場合は霧状水、泡、粉末、炭酸ガスを使用すること。

周辺設備に適した消火剤を使用する。

##### 消火を行う者への勧告

##### 特有の消火方法

消火作業は、離れた風上から行う。

消火の為の放水等により、環境に影響を及ぼす物質が流失しないよう適切な措置を行う。

関係者以外は安全な場所に退去させる。

##### 消火を行う者の保護

消火作業従事者は、適切な保護具を着用する。

### 6. 漏出時の措置

#### 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

関係者以外は近づけない。

回収が終わるまで十分な換気を行う。

適切な保護具を着用する。

こぼれた場所はすべりやすいため注意する。

#### 環境に対する注意事項

漏れ出した物質の下水、排水溝、低地への流出を防止する。

#### 封じ込め及び浄化の方法及び機材

不活性の物質（乾燥砂、土など）に吸収させて、容器に回収する。

多量に流出した場合、盛土で囲ってのち処理する。

#### 二次災害の防止策

付近の着火源となるものを取り除く。

着火した場合に備えて、消火用器材を準備する。

### 7. 取扱い及び保管上の注意

#### 取扱い

##### 技術的対策

##### (取扱者のばく露防止)

粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。

適切な保護具を使用する。

##### (火災・爆発の防止)

静電気に対する予防措置を講ずる。

##### 安全取扱注意事項

全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。

指定された個人用保護具を使用すること。

##### 配合禁忌等、安全な保管条件

##### 適切な保管条件

施錠して保管すること。

乾燥した場所で密閉容器に保管すること。

##### 避けるべき保管条件

熱源から離して保管する。  
直射日光を避けて保管する。

## 8. ばく露防止及び保護措置

### 管理指標

#### 管理濃度

(チタン、アンチモン、ニッケルの複合酸化物系顔料)  
作業環境評価基準(2009)  $\leq 0.1\text{mg-powder Ni/m}^3$

#### 許容濃度

(ニ酸化チタン)

日本産衛学会(2013)  $0.3\text{mg-ナノ粒子/m}^3$

(チタン、アンチモン、ニッケルの複合酸化物系顔料)

日本産衛学会(2013)  $0.1\text{mg-Sb/m}^3$

(酸化第二鉄)

ACGIH(2005) TWA:  $5\text{mg/m}^3(\text{R})$  (じん肺)

(カーボンブラック)

ACGIH(2010) TWA:  $3\text{mg/m}^3(\text{I})$

(ニ酸化チタン)

ACGIH(1992) TWA:  $10\text{mg/m}^3$  (下気道刺激)

(チタン、アンチモン、ニッケルの複合酸化物系顔料)

ACGIH(1979) TWA:  $0.5\text{mg-Sb/m}^3$  (皮膚および上気道刺激)

### ばく露防止

#### 設備対策

適切な換気のある場所で取扱う。

#### 保護具

##### 呼吸用保護具

適切な呼吸用保護具を着用する。

##### 手の保護具

適切な手袋を着用する。

##### 眼の保護具

保護眼鏡/顔面保護具を着用する。

##### 皮膚及び身体の保護具

適切な保護衣を着用する。

#### 衛生対策

取扱い後は汚染箇所をよく洗うこと。

この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。

休憩、終業時は手を洗う。

休憩、終業時はうがいする。

## 9. 物理的及び化学的性質

形状	: 液体 (ペースト状)
臭い	: データなし
pH	: データなし
初留点/沸点	: データなし
融点/凝固点	: データなし
分解温度	: データなし
引火点	: $>300^\circ\text{C}$

自然発火点	: データなし
可燃性	: データなし
蒸気圧	: データなし
蒸気密度	: データなし
燃焼又は爆発範囲の上限/下限	: データなし
相対ガス密度	: データなし
動粘性率	: データなし
オクタノール/水分配係数	: データなし
分解温度	: データなし
粒子特性	: データなし

## 1 0. 安定性及び反応性

### 化学的安定性

通常の保管条件/取扱い条件において安定である。

## 1 1. 有害性情報

### 毒性学的影響に関する情報

急性毒性: データなし

#### 局所効果

皮膚腐食性・刺激性

[日本公表根拠データ]

(酸化第二鉄)

ヒト 中等度の刺激性 (ICSC(J), 2004et al)

眼に対する重篤な損傷・刺激性

[日本公表根拠データ]

(酸化第二鉄)

ヒト 腐食性 (IUCLID, 2000)

(ニ酸化チタン)

ラビット 軽度の刺激性 (IUCLID, 2000)

感作性: データなし

生殖細胞変異原性: データなし

#### 発がん性

[日本公表根拠データ]

(カーボンブラック)

IARC (65, 1996) Gr.2B et al

(ニ酸化チタン)

IARC (Monograph Vol.93, in preparation) 粒径 10-50nm Gr.2B

(酸化第二鉄)

IARC-Gr.3: ヒトに対する発がん性については分類できない

(カーボンブラック)

IARC-Gr.2B: ヒトに対して発がん性があるかもしれない

(ニ酸化チタン)

IARC-Gr.2B: ヒトに対して発がん性があるかもしれない

(カーボンブラック)

ACGIH-A3(2010): 確認された動物発がん性因子であるが、ヒトとの関連は不明

(酸化第二鉄)

ACGIH-A4(2005): ヒト発がん性因子として分類できない

(チタン、アンチモン、ニッケルの複合酸化物系顔料)

ACGIH-A1(1996)：確認されたヒト発がん性因子

(ニ酸化チタン)

ACGIH-A4(1992)：ヒト発がん性因子として分類できない

催奇形性 : データなし

生殖毒性 : データなし

短期ばく露による即時影響、長期ばく露による遅延/慢性影響

特定標的臓器毒性

特定標的臓器毒性 (単回ばく露)

[区分 3(気道刺激性)]

[日本公表根拠データ]

(酸化第二鉄) 気道刺激性 (ICSC(J), 2004; IUCLID, 2000)

特定標的臓器毒性 (反復ばく露)

[区分 1]

[日本公表根拠データ]

(酸化第二鉄) 呼吸器系 (ACGIH, 2001)

(カーボンブラック) 肺 (IARC vol. 65, 1996)

吸引力呼吸器有害性 : データなし

誤えん有害性 : データなし

## 1 2. 環境影響情報

生態毒性

水生毒性

水生毒性 (急性) 成分データ

[日本公表根拠データ]

(カーボンブラック)

甲殻類 (オオミジンコ) LC50 > 5600mg/L/24hr (SIDS, 2006)

水溶解度

(酸化第二鉄)

溶けない (ICSC, 2004)

(カーボンブラック)

溶けない (ICSC, 2010)

(ニ酸化チタン)

溶けない (HSDB, 2004)

(銅フタロシアニンブルー)

溶けない (ICSC, 2006)

残留性・分解性 : データなし

生体蓄積性

(銅フタロシアニンブルー)

log Pow=6.6 (calc.) (ICSC, 2006)

オゾン層への有害性 : データなし

## 1 3. 廃棄上の注意

- ・ 内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄すること。

## 1 4. 輸送上の注意

## 国連番号、国連分類

分類基準に該当しない。

## 特別の安全対策

直射日光、雨にばく露されないように運搬する。

## 15. 適用法令

当該製品に特有の安全、健康及び環境に関する規則/法令

### 労働安全衛生法

名称表示危険/有害物（令 18 条）（平成 28 年 6 月 1 日より）

チタン、アンチモン、ニッケルの複合酸化物系顔料；カーボンブラック；ニ酸化チタン；酸化第二鉄  
水酸化鉄(III)；銅フタロシアニングリーン；銅フタロシアニンブルー

名称通知危険/有害物（第 57 条の 2、令第 18 条の 2 別表 9）

チタン、アンチモン、ニッケルの複合酸化物系顔料；カーボンブラック；ニ酸化チタン；酸化第二鉄  
水酸化鉄(III)；銅フタロシアニングリーン；銅フタロシアニンブルー

### 化学物質管理促進(PRTR)法

第 1 種指定化学物質

チタン、アンチモン、ニッケルの複合酸化物系顔料

特定第 1 種指定化学物質

チタン、アンチモン、ニッケルの複合酸化物系顔料

### 消防法

指定可燃物可燃性固体類

毒物及び劇物取締法：該当せず

## 16. その他の情報

ホルムアルデヒド放散量区分：（日本シーリング材工業会）ホルムアルデヒド汚染対策のための自主管理規定 JSIA-027014 F☆☆☆☆

本データシートは、日本工業規格 Z 7253:2019「GHSに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法ーラベル、作業場内の表示及び安全データシート（SDS）」（以下「JIS」という）に準じて作成されており、用語の定義は、JISに従っています。

本データシートは製品の安全な取扱いを確保するための「参考情報」として、作成時点で弊社の有する情報を取扱事業者を提供するものです。

取扱事業者は自らの責任において各々の実体に応じた適切な処置を講ずることが必要です。

記載内容は現時点で入手できる資料/情報/データに基づいて作成しております。しかし含有量、物理化学的性質、危険有害性等に関してはいかなる保障をなすものではありません。

関連する新しい情報を入手した場合、本 SDS は改訂されることがあります。また注意事項は通常の取扱いを対象にしたもので、特別な取扱いをする場合には用途/用法に適した安全対策を実施の上ご利用下さい。